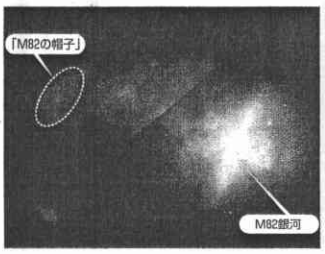
天地創造　X線衛星「すざく」　一端とらえた

M82銀河、1万回の超新星爆発



北斗七星がある「おおぐま座」近くのM82銀河で約2千万年前、恒星の一生の最後である超新星爆発が約1万回連続して起き、巨大なプラズマの塊が帽子のように飛び出している様子＝写真は合成、鶴剛・京大助教授提供＝を、日本のX線衛星「すざく」がとらえた。M82銀河の内部は「天地創造」状態とも言われており、銀河形成の解明に役立つものと期待される。

京都で開かれた「すざく」関連の国際会議で、鶴助教授（X線天文学）と、すざく研究グループが発表した。このプラズマは「M82の帽子」と呼ばれ、M82銀河から約3万8千光年離れたところにある。

長さは約1万2千光年で幅は約3千光年と、ほぼ銀河並みの大きさ。これまではっきりと姿をとらえられなかったが、「すざく」のX線観測によって、温度が約700万度で、内部に酸素やネオン、マグネシウム、ケイ素など、超新星爆発でつくられる元素が大量に含まれていることがわかった。鶴助教授は、「M82銀河は現在も活動を継続しており、これからも大爆発が起きるだろう」と話している。

プラズマ　超高温下で元素がプラスの電気を帯びたイオンと、負の電気を持った電子にばらばらに分かれて存在している状態。固体、液体、気体に次ぐ物質の第4の状態とも呼ばれる。地球上には稲妻やオーロラなどの例がある。

泥沼イラクに別世界

自由享受　クルド地域

ビール手に昼食

安定した治安、流れ込む資本や家電製品――。イラク北部のクルド地域には、宗派対立の泥沼化で血のにおいの絶えないバグダッドとは別世界が広がっていた。北部3州でつくるクルド地域政府は、さらに「領土」の拡大や石油資源の確保に着々と手を打つ。「国なき民」と呼ばれるクルド人にとって、悲願の「独立国家」を事実上勝ち取ったかに見えるが、中央政府とのあつれきや、貧富の格差など苦悩も見えた。

（イラク北東部ハナキン＝雪に覆われた3千㍍級の山々をいただく北部3州から南に30㌔ほど離れた平野部に、人口約15万の町ハナキンがある。クルド勢力が、人口の8割を占める多数派のアラブ人と相対する最前線だ。

だが、街に緊張感はない。昼飯時、羊肉料理を食べ終わったクルド人の男たちが輸入ビールを楽しんでいた。戒律に厳格なイスラム原理主義が広がり、酒店が次々と爆破されたバグダッドでは考えられない自由さだ。

市場には、地元の新鮮な野菜や、隣国イランから入る生活物資や家電製品、米映画の海賊版DVDまでそろう。黒いベールで体を包んだ女性と女の子が菓子を買い込んでいた。

03年にフセイン政権が崩壊する前、ここはアラブ人の町だった。旧政権は、70年代から十数万人のクルド人を追放し、アラブ化政策を進めた。

米軍が旧政権を倒した03年4月、クルド民兵組織「ペシュメルガ」が侵攻し、町を奪還。アラブ人5万人が追いだされ、代わってクルド人7万5千人が帰ってきた。

町の治安は今、ペシュメルガが担う。表向きはイラク治安部隊に統合され、イラク国防省から制服と給与が支給されるが、地域政府から追加給与を受け取り、通信はクルド語で行う。

幹線道路には何重もの検問所を設置。入ってくるアラブ人は、身分証だけではなく、クルド人の身元引受人の提示が必要で、まるで「国境」だ。

クルド旗を掲げた執務室で、現地治安部隊のアフマド副隊長(34)が誇った。「米軍は週に1度、状況確認に来るだけで部隊もいない。我々が独力で町を守っている」

05年11月に95人が死亡した自爆テロ以来、テロはない。最近も「偵察」に来たシリア人とアフガニスタン人を、町の入り口で拘束した。

クルド地域政府は、ハナキンなど北部3州に隣接する地域で、旧政権によってアラブ諸州に強制編入された地域の「クルド化」を進めている。

こうした係争地の帰属を決める住民投票が、07年11月までに予定されている。アラブ側が絶対死守を叫ぶ石油の要衝キルクークを除き、いずれもクルド人口が9割近くに達しており、復帰は確実視されている。

燃料不足　独自に新油田

「ここは石油の海に浮かぶ土地です」

ハナキンのハッサン市長(50)によると、一帯には20基の油井がある。ところが町は深刻な燃料不足で、道路脇にはイランから輸入されたガソリンの容器が並び、1㍑1㌦と日本並みの価格で売られていた。

イラク戦争中の破壊で稼働中は6、7基。旧政権のアラブ重視策のため地元に石油精製施設がなく、1日5万千㍍の生産量すべてが、バグダッドの製油所に送られる。

イラク北部の各地には未開発の膨大な原油が眠っているといわれるが、クルド全域が、同じ苦境に陥っている。発電は水力しかなく、主要都市のスレイマニアでさえ通電は1日2、3時間だ。

打開策として、地域政府は11月、混乱で行政能力がマヒした中央政府を通さず、独自に石油開発を進める「天然資源法案」を議会に提出した。

イラク憲法に「すでに開発された油田は、中央政府が管理する」との規定がある。地域政府は、これを逆手にとって「新規開発分は地域政府のもの」と解釈し、その利益の独占を狙っている。

実は、すでにノルウェーやトルコ、米トルコ合弁企業と独自に契約し、新油田の開発に成功している。トルコ企業の現地責任者エルダール氏は「政府の許可が出れば、すぐに操業を始められる」という。

イラク石油省は「勝手な開発契約は無効だ」と猛反発。クルド側は「新油田の利益の何割かを、中央に払うことで妥協を目指す」（クルド議会のジャンバズ議員）姿勢だが、交渉は続いている。

時時刻刻

参院選　首相「私が候補決める」　自民執行部に調整促す

【マニラ＝友野賀世】フィリピンを公式訪問中の安倍首相は9日、来年の参院選の公認候補の差し替えをめぐって自民党内から反発が出ていることについて「当然、私が責任を持って候補者を決めていく。公認にあたって勝てる候補、支持を得られる候補かを常に念頭に選んでいる」と述べた。選考の最終責任を自らが負うと強調することで、抵抗の強い参院側との調整を党執行部に急がせる考えを示したものだ。マニラ市内のホテルで記者団に語った。

首相は公認候補について「ベストの候補者だと自信を持って公認を決めないといけない。地元の状況等もあるが、執行部が厳選していくと思う」と述べ、候補者の差し替えに含みを持たせた。

また、郵政民営化に反対して自民党を離党し、昨年の総選挙で落選した前議員の復党について、首相は「落選した人は国会で意思表明できないが、（復党のための）原則に同意してもらわないといけないし、選挙区の事情もある。個々のケースを見ないといけない」と語った。個別の選挙区をめぐる具体的な調整は党執行部に任せる考えも示した。

ひと

米自然写真コンテストでグランプリ受賞の猿公園職員

萩原敏夫さん(42)

雪の中を歩く母親とおなかにしがみつく子供が、まっすぐこちらを見ていた。去年1月のこと。餌付けをしているニホンザル親子をシャッターで切り取った。世界の写真家が出品し、米国最高峰の自然写真コンテストとも言われる「ネイチャーズ・ベスト国際写真コンテスト」に初応募した作品が、約1万2千点からグランプリに選ばれた。

長野県山ノ内町の公園「地獄谷野猿公苑」は、温泉に集まる猿が人気を呼び、年間10万人が訪れる。専門学校を卒業した84年、子供の頃から遊びに来ていた同園に就職した。「デスクワークよりも、自然に触れられるほうがいい」。軽い気持ちだった。

同園は年中無休。深い雪の積もる冬にも、毎日のように温泉の脇に陣取ってエサをやる。子猿の成長を見守り、老猿の死を見届ける。自分の家族より長い時間を過ごすうち、約200匹の顔や癖を覚え、ひかれていった。

学生時代から趣味だったカメラを本気で握り始めたのは、01年のことだ。猿の撮影に毎月通って来ていた写真家が、若くして亡くなった。家族ぐるみでつきあっていた兄貴分。「遺志を継げたら」。彼を見ながら学んだ、撮影の狙いや技術に磨きをかけた。猿たちの動きは誰よりもわかっている。絵になる瞬間を少しずつ撮りためた。

受賞作は「兄貴分」の形見のレンズで写した一枚だった。

文・写真　野口　陽

北朝鮮核計画　日比「放棄を」

首脳会談で声明

【マニラ＝友野賀世】フィリピンを公式訪問している安倍首相は9日、アロヨ大統領と会談した。両首脳は北朝鮮のミサイル発射と核実験を非難し、すべての核兵器と既存の核計画の放棄を求めることや、二国間の協力促進などを盛り込んだ共同声明に署名した。

声明では北朝鮮に対し、核放棄をうたった昨年9月の6者協議共同声明などの完全実施のため「具体的かつ効果的な措置」をとることや、拉致問題を含む「国際社会の安全保障や人道上の懸念」への対応を求めた。

また、両国の経済連携協定が発効すればフィリピンの看護師や介護士が日本で働けるようになるため、日本語教育の支援策として教材の提供や教師の養成計画開始なども盛り込んだ。

これが中国の本音だ！〈七時間マラソン対決〉
激突！日中大闘論
櫻井よしこ VS 劉江永
田久保忠衛 VS 歩平
すべては一冊
硫黄島 栗林忠
元常務がうつる危機の本質 成果主義が
国家
驕れる経済人よ、